

# 東京都看護人材実態調査 (従事者：看護補助者編)

## 調査票回答に当たってのお願い

■本調査は、都内の看護職員及び看護補助者の地域別、施設種別、職種別の就業実態と看護教育に対するニーズを把握し、2030年に向けた東京都の看護施策を検討する上での重要な資料となります。本調査の趣旨をご理解頂き、是非ともご協力をお願いします。

■回答に当たっては、各質問の注意書き等を踏まえて、回答してください。

■回答方法等でご不明な点がありましたら、下記までお問い合わせください。

【調査委託会社】東京都ビジネスサービス株式会社 (担当者：栗山、西)

電話番号：03(6426)0426

電子メールアドレス：tokyo-kango-chosa@tokyotobs.com

■ご回答いただいた調査票は、調査専用の返信用封筒に入れて、令和6年10月31日(木曜日)までに投函してください。(切手は不要です。)

■本調査のデータ及び結果については、東京都の看護人材確保対策以外に使用することはありません。調査票の情報管理は厳重に取り扱い、個人が特定されることはありません。ただし、統計的な取りまとめ結果については、公表することがあります。

○本調査は、看護職員(保健師、助産師、看護師、准看護師)※及び看護補助者に関する行  
うものです。※看護学生含む

○特に指定のない項目は令和6年9月1日現在で記入してください

○選択回答については、当てはまる数字を回答欄へ記入してください。

○質問の前に特段の断りがない場合は、すべての方に回答いただきます。

### 【用語の説明】

この調査における用語等について説明します。

#### ● 雇用形態

- ・ 正規雇用：任期（定年を除く）の定めのない雇用で、育児・介護等による短時間正規雇用を含む。
- ・ 非正規雇用：パート、アルバイト、非常勤、派遣など任期（契約期間）の定めのある雇用

#### ● 勤務形態

- ・ 常勤：雇用形態を問わず、施設で定められた勤務時間を全て勤務する者（＝フルタイム勤務者）  
ただし、定められた1週間の勤務時間が32時間未満の者は非常勤とする。
- ・ 非常勤：施設と雇用関係にあつて上記の常勤でない職員（週2日5時間勤務、週5日3時間勤務など）

### 「あなた自身のこと」についてお聞きします

問1 あなたの性別を回答してください。

- ① 女
- ② 男
- ③ その他

回 答

問2 あなたの年齢について、該当する番号を回答してください。

- ① 19歳以下                      ⑤ 35歳～39歳                      ⑨ 55歳～59歳
- ② 20歳～24歳                      ⑥ 40歳～44歳                      ⑩ 60歳～64歳
- ③ 25歳～29歳                      ⑦ 45歳～49歳                      ⑪ 65歳～69歳
- ④ 30歳～34歳                      ⑧ 50歳～54歳                      ⑫ 70歳以上

回 答

問3 あなたの家族構成について、それぞれ該当する方に○を付けてください。  
また、「あり」の場合は、人数も記入してください。

	あり	人数	なし
配偶者			
子ども（未就学児）			
子ども（小学生）			
介護を要する者			

問4 現在持っている、又は今後取得したい医療介護系の資格に○を付けてください。(複数回答可)

	持っている	今後取得したい
① 保健師		
② 助産師		
③ 看護師		
④ 准看護師		
⑤ 介護職員初任者研修 (旧ホームヘルパー2級)		
⑥ 介護支援専門員 (ケアマネージャー)		
⑦ 介護福祉士		
⑧ その他 (具体的に : )		

問5 あなたの現在の職場は、次のうちどれですか。

- ① 病院 (500床以上)
  - ② 病院 (200床以上 500床未満)
  - ③ 病院 (200床未満)
  - ④ 有床診療所
- } (→問5-1へ)

回答

問5で ①～③を選んだ方は、勤務先の病院が次のうちどれに当てはまるかを選択してください。

問5-1 勤務先の病院が次のうちどれに当てはまるかを選択してください。

- ① 急性期中心
- ② 回復期中心
- ③ 慢性期中心
- ④ 精神科病院
- ⑤ ①～④以外の病院

回答

問5-2 主として働いている部署を選択してください。

- ① 病棟 (急性期)
- ② 病棟 (回復期)
- ③ 病棟 (慢性期)
- ④ 外来部門
- ⑤ 検査部門
- ⑥ 中央材料室
- ⑦ 手術室
- ⑧ ICU・CCU・SCU・NICU
- ⑨ その他の部署 (具体的に : )

回答

問6 あなたの雇用形態・勤務状況について、次のうち当てはまるものを選択してください。

- ① 正規雇用（フルタイム）
- ② 正規雇用（短時間）
- ③ 非正規雇用（フルタイム）
- ④ 非正規雇用（非常勤、パート、アルバイトなど） 週5日以上勤務
- ⑤ 非正規雇用（非常勤、パート、アルバイトなど） 週3～4日勤務
- ⑥ 非正規雇用（非常勤、パート、アルバイトなど） 週1～2日勤務
- ⑦ その他（具体的に： \_\_\_\_\_ )

回 答

問7 あなたの夜間の業務について、最も当てはまるものを選択してください。

- ① 夜間の勤務はない職場で働いている
- ② 夜勤を免除されている
- ③ 夜勤がある
- ④ 夜勤専従である
- ⑤ 当直がある
- ⑥ オンコール等の緊急時当番がある

※ 夜勤とは、夜から翌朝までの勤務をいう。  
 ※ 夜勤は法定労働時間内の勤務、当直は法定労働時間外の待機業務を指す。

回 答

問8 職場で実際に行っている業務をすべて選択し、○を付けてください。また、行っているが技術的に難しいと感じている業務がある場合は、○を付けてください。

業務内容		行っているもの	難しいもの
<b>周辺業務</b> (対象者に接しない業務)	<b>生活環境に関わる業務</b>	① 病床及び病床周辺の清掃・整頓	
		② 病室環境（温度・湿度等）の調整	
		③ シーツ交換やベッドメイキング	
		④ リネン類の整理	
		⑤ その他（ _____ ）	
	<b>診療に関わる周辺業務</b>	⑥ 処置・検査等の伝票類の整備	
		⑦ 診療に必要な書類の整備	
		⑧ 診療に必要な器具等の準備	
		⑨ 診療材料の補充・整理	
		⑩ 入退院・転出入に関する業務	
		⑪ その他（ _____ ）	
<b>直接ケア</b> (「対象者の状態像」、「看護補助者の業務状況」によって、実施可能かどうかは異なる)	<b>日常生活に関わる業務</b>	⑫ 食事に関する業務	
		⑬ 身体の清潔に関する業務	
		⑭ 排泄に関する業務	
		⑮ 安全安楽に関する業務（体位交換等）	
		⑯ 移動・移送に関する業務	
		⑰ その他（ _____ ）	

問9 看護補助者として安心して働くために必要な研修等があれば、当てはまるものを全てお答えください。

選択項目	回答
① 知識の習得を目的とした座学中心の研修	
② 技術の習得を目的とした演習中心の研修	
③ 看護職員との協働に向けた研修 (グループワークを通じた好事例の共有や、課題解決に向けた事例検討等)	
④ その他(具体的に: )	
⑤ 特になし	

問10 看護補助者として働く前にあれば受講したかった研修等があれば、当てはまるものを全てお答えください。

選択項目	回答
① 看護補助者が働いている実際の職場見学等を行う研修	
② 看護補助者の業務を体験する研修	
③ 実際に働いている看護補助者が自身の経験等を伝える研修	
④ その他(具体的に: )	
⑤ 特になし	

問11 あなたが看護職員と協働する場面でよくあると感じることがあれば、当てはまるものを全てお答えください。

選択項目	回答
① 看護職員が使用する言葉がわかりづらい(専門用語や略語等)。	
② 看護職員の指示が明確ではない。 (いつまでに、どこで、誰が、何を、どのように)	
③ 看護職員へ報告する適切なタイミングがわからない。	
④ 一度に多くの指示があったとき、業務の優先順位のつけ方がわからない。	
⑤ 看護補助者が実施できない業務を看護職員から指示されたとき、断り方がわからない。	
⑥ その他(具体的に: )	
⑦ 特になし	

問 12 求職活動開始当初、看護補助者という仕事を知っていましたか。

- ① 知っていた
- ② 知らなかった

回 答

問 13 看護補助者になる直前の職業について、該当するものを一つ選んでください。

④を選んだ方は具体的な内容を（ ）内に記入してください。

- ① 看護師・准看護師
- ② 介護職員
- ③ 事務員
- ④ その他の職業（具体的に： \_\_\_\_\_）
- ⑤ 職業経験なし

回 答

問 14 看護補助者を選んだ理由として当てはまるもの全てに○をつけてください。（複数回答可）

選択項目	回答
① 人の役に立てる仕事だと思った	
② 看護補助者に興味があった	
③ いままでの経験や持っている資格がいかせる	
④ 働きながら看護や介護に関する資格を取るための勉強ができる	
⑤ 経験や資格がなくても応募しやすい	
⑥ 幅広い年代が応募しやすい	
⑦ 育児や介護と両立しやすい	
⑧ 勤務時間や給与額が希望と合致した	
⑨ 近所の病院でたまたま募集していた	
⑩ その他（具体的に： _____）	

問 15 看護補助者の求人をどこで知りましたか。当てはまるもの全てに○をつけてください。

(複数回答可)

	回答	
	利用したもの	最終的に転職先を見つけたもの
① ハローワーク		
② 人材派遣会社		
③ 有料職業紹介会社 (看護師転職サイト等)		
④ 新聞折り込み広告		
⑤ 電車内や駅等に貼られた広告		
⑥ 求人雑誌、医療・看護系雑誌		
⑦ 施設のホームページ		
⑧ SNS →最も活用しているものに○をつけてください。(X(旧 Twitter)・Facebook・Instagram・Youtube)		
⑨ 知人の紹介、口コミ		
⑩ その他 (具体的に： )		

問 16 看護補助者として、通算して何年働いていますか。

- ① 1年未満
- ② 1年以上3年未満
- ③ 3年以上5年未満
- ④ 5年以上10年未満
- ⑤ 10年以上15年未満
- ⑥ 15年以上20年未満
- ⑦ 20年以上

回 答

問 17 今の職場で何年働いていますか。(同一法人内で異動したときは、通算した在籍期間としてください。)

- ① 1年未満
- ② 1年以上3年未満
- ③ 3年以上5年未満
- ④ 5年以上10年未満
- ⑤ 10年以上15年未満
- ⑥ 15年以上20年未満
- ⑦ 20年以上

回 答



【問 19-1 で「⑭職場の人間関係」と回答した場合に、お答えください。】

問 19-2 職場の人間関係のうち、当てはまるものを選択してください。

回答

- ① パワーハラスメント
- ② セクシャルハラスメント
- ③ 妊娠・出産・育児休業等ハラスメント
- ④ 介護休業等ハラスメント
- ⑤ 利用者等からの著しい迷惑行為（カスタマーハラスメント）
- ⑥ その他（ ）

問 20 今の職場の給与について当てはまるものを選択してください。

（時給の場合）

- ① 1,000 円～1,200 円
- ② 1,200 円～1,400 円
- ③ 1,400 円～1,600 円
- ④ 1,600 円以上

回答

（月給の場合）※税込み支給額（交通費除く）でお答えください。

- ⑤ 5 万円未満
- ⑥ 5 万円～10 万円未満
- ⑦ 10 万円～15 万円未満
- ⑧ 15 万円～20 万円未満
- ⑨ 20 万円～25 万円未満
- ⑩ 25 万円以上

問 21 今の職場の勤務環境や福利厚生として、当てはまるもの全てに○をつけてください。

（複数回答可）

選択項目	回答
① 昇給制度	
② 住宅手当等	
③ 職員住宅	
④ スキルアップのための研修	
⑤ 多様な働き方（時短・フレックスタイム等）	
⑥ その他（ ）	

問 22 6 年後（2030 年）、あなたはどのようにしていると思いますか。最も近いものを選択してください。

- ① 看護補助者として働き続けている
- ② 看護補助者として働きながら、看護師等の資格取得を目指している
- ③ 退職して、看護師等の資格取得を目指している
- ④ 退職し、まったく別の職業に就いている
- ⑤ 看護師又は准看護師として働いている
- ⑥ その他（具体的に： ）

回答

問 22 で、「④退職し、まったく別の職業に就いている」と回答した場合に、お答えください。

問 22-1 6 年後（2030 年）、看護補助者を辞めていると思う理由を 1 つ選択してください。

- ① 出産・育児
- ② 家族の介護
- ③ 不規則勤務、夜勤が辛いから
- ④ 休みが思うように取れないから
- ⑤ 労働時間（拘束時間）が長いから
- ⑥ 今の待遇（給与等）では続けていけないから
- ⑦ ストレスが大きいから
- ⑧ 体力的につらいから
- ⑨ 新しい知識・技術についていけないから
- ⑩ 看護業務に魅力を感じられないから
- ⑪ 看護以外にやりたいことがあるから
- ⑫ 経済的に就業する必要があるから
- ⑬ 定年
- ⑭ その他（具体的に： \_\_\_\_\_ )

回 答

以上で調査は終了です。

ご協力いただき誠にありがとうございました。